

## 研究結果報告書

ワーキング・ホリデーに必要な日本語および予備知識  
ーワーキング・ホリデーで日本に行っている台湾人若者への調査を通してー

所属： 台中科技大学 日本語学科  
役職： 教授  
氏名： 王 敏東

2009年6月、日本と台湾との間でワーキング・ホリデー制度が導入されて以来、多数の台湾の若者達がこの制度を利用して日本を訪問している。若者達の間でブームを巻き起こしたとも言える様々な社会現象や、仲介業者に騙された事件などはマスコミにも度々取り上げられている。

本研究はまず、これまでほとんど論じられることがなかった台湾の若者の心理について、ワーキング・ホリデー制度を利用して日本に行くことを決意した動機なども含めて検証し、報告する。具体的には「ワーキング・ホリデー制度を利用して日本へ行くとした主な目的は何か?」、「ワーキングを選択する基準は何か?」、「ワーキング・ホリデーの期間中に何か心理的な変化があったのか?」、「ワーキング・ホリデーで訪日期間中に最も印象に残ったことは何か?」、「現在はこのワーキング・ホリデーをどう評価しているか?」などに関して、ワーキング・ホリデーに行く（または行っている、或いは行ってきた）台湾の若者達十数人の意見を取り纏め、分析したところ、以下のことが明らかになった。

①まず、ワーキング・ホリデー制度を利用して日本に行くために、若者達は念入りな事前準備を行なっていること。②また、友人達との積極的な情報交換も、日本でのワーキング・ホリデーの「輪」の形成、強化に大きな影響を及ぼしている。③多くの若者が、ワーキング・ホリデーに「日本語の上達」と「日本での生活体験」を期待している。

仲介業者にインタビュー調査をした結果、様々な局面で台湾の若者達の「頑張り振り」も窺い知れた。

また、今回の調査結果から、ワーキング・ホリデーを利用して日本に滞在する台湾の若者達が、実際どのようなことに困難を感じ、彼らがそうした困難を乗り越えるために、教育の実践に携わる側としては事前にどんな支援が出来るのかを考察してみた。その結果、以下のアドバイスが有効であると考えられる。

- ◎仲介業者は慎重に選び、契約内容/契約条件を詳細にチェックした上で、契約するようアドバイスする。
- ◎飲食店（特に中華料理店）やホテルなどでよく使われる用語、表現（「爪楊枝」など）を事前に教えておくこと。
- ◎日本においては、中国系である台湾人は中華料理が調理できると思われがちなので、飲食に関する用語だけでなく、実際、予め調理についてもある程度身に付けておいた方が良いのかもしれない。

研究成果の公表について(予定も含む)

口頭発表 (題名・発表者名・会議名・日時・場所等)

王敏東\*、「ワーキング・ホリデーで日本に滞在する台湾人の若者へのインタビュー調査から得た知見」, 香港日本語教育研究会例会, 2013年9月

論文 (題名・発表者名・論文掲載誌・掲載時期等)

王敏東\*、吳致秀、「日本でのワーキング・ホリデーに関する一考察—日本語専攻の台湾人へのインタビューを通して—」『臺灣日本研究』7, 2013年月10月, 25-61頁。(台湾日本研究學會・中日文教基金會)

書籍 (題名・著者名・出版社・発行時期等)